



代表質問 市民クラブ すばる
高木 広和 議員

令和7年度・8年度 予算・今後の 財政見通しについて

問 長期財政計画の改訂の見通しを伺う

答 社会を取り巻く環境や財政状況に変化が生じていることから、各部署の事業の財政見通しを集約し、長期財政計画の改訂を進めています



問 令和7年度予算編成について

の財政的な見解を伺う。

答 市長

令和7年度一般会計予算は、義務的経費に加え、これまでから実施してきた継続事業を中心とした予算編成で、予算規模は、骨格予算とした当初予算の313億4千万円に、6月定例会において、政策予算として約14億7千万円を追加し、約328億円の予算となっています。

市の財政は厳しい状況であると認識しており、これまで以上に各種事業の見直しや

公共施設の再編など行財政改革を進める必要があると考えています。

問 令和8年度の予算編成をどのように進めていくのか。

答 市長

令和8年度の予算編成にあたっては、新ごみ処理施設や小中学校の施設整備などの大型事業が予定されていることから、各種事業の見直しによる歳出削減や費用対効果を向上させるなど行財政改革を全庁あげて取り組む必要があります。

そのうえで、高島市の魅力

である、美しい水や緑および景観に育まれた豊かな文化や歴史などを活かしたまちづくりを進めていくことも非常に重要であると考えているところであり、長期財政計画の改訂により将来見通しを明らかにし、高島市の魅力を活かしたまちづくりを進めるための施策についても検討を進めたいと考えています。

問 長期財政計画の改訂の見通しを伺う。

答 市長

現在の長期財政計画は令和3年度に改訂されたものであり、物価高騰や国の賃上げ政策など社会を取り巻く環境が変化したことによる人件費、扶助費などの経常的経費の増加に加えて、新ごみ処理施設の整備やマキノ地域小学校の新築統合などの大型事業により財政状況に変化が生じていることから、本年度、各部署の事業の財政見通しを集約し、長期財政計画の改訂を進めています。

問 各種事業の見直しによる歳出削減や費用対効果の向上などの行財政改革にどのように取り組んでいくのか、また、行財政改革の目標があれば伺う。

答 市長

公共施設の再編については、本年度から10年間で更に20%、72000㎡の削減を目標としているところであり、難度が上がることが予想されます。公共施設の再編を進めるにあたっては、市民の皆さまの理解を得ることが重要であり、丁寧な説明を行いながら将来に向けた再編を進める必要があると考えています。

問 長期財政計画の改訂には、どのような事業を見込む予定か伺う。

答 市長

現時点では具体的にお答えすることはできませんが、現在、計画しています新ごみ処理施設整備事業や、マキノ地域小学校の新築統合事業などの大型事業も見込むことと

しており、そのうえで、各種事業の見直しによる歳出削減や費用対効果を向上させるなど公共施設の再編をはじめとする行財政改革の推進とあわせて、高島市の魅力を活かしたまちづくりを進めるための施策につきましても検討を進めるよう各部署長に指示をしたところです。



問 大型事業を含むこれからの事業については、その必要性、合理性、利便性また財政面を考慮した精査や検討も必要であると思うが、どのように考えているのか。

答 市長

ご指摘のように、既に計画しております大型事業につきましても、合理性や財政面を考えまして、精査していくと

いうことも重要であると考えています。

問 令和6年度までに発行した合併特例債の償還も始まるなかで、新ごみ処理施設の整備や小中学校の施設整備などの大型事業の実施により公債費の負担が大きくなるのではないかと懸念するが、今後の公債費の見通しや市債発行についての考えを伺う。

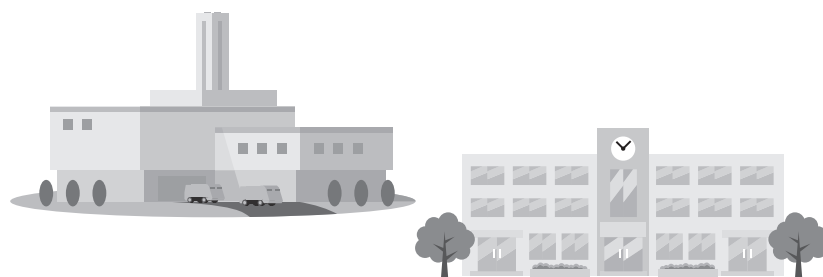
答 市長

令和9年度までは市債の元利償還金は増加し、その後、減少していくのではないかと見込んでいます。

また、令和8年度以降、新ごみ処理施設の整備や小中学校の改修事業などの大型事業の実施に伴い、国・県の補助金に加えて、市債発行が見込まれますが、将来の負担となります市債の元利償還は人件費、扶助費と合わせて義務的経費となるため市の財政に与える影響は大きいと考えています。

今後の市債発行については、

財政優遇措置のある有利な市債を活用するなど、後年度の財政負担の抑制に努めたいと考えています。



その他の質問

・新しい政策とまちづくりについて
・マキノ西浜・産業用地開発事業について